

公衛協のPRや情報交流のきっかけとなるよう、市町公衛協会長に『わがまち』で力を入れている取り組みやその成果についてインタビューし、県内26公衛協の魅力をお伝えします。

我がまちの公衛協②



所 属：府中市公衛連
お名前：大上 利太
公衛協歴：16年目
会 長 歴：6年目
世 帯 数：17,551世帯
推進委員数：690人

関係者が『和やか』に協力

アドプト登録地点数1位

Q1 力を入れている活動

『住み良い環境づくりのために、みんなと共に生きていく街府中!』をスローガンに、不法投棄対策やごみ分別、地域清掃の推進に力を入れています。

中でも、『アドプトネット事業』は、快適で住み良い環境づくりを地域みんなで維持していくという思いのもと、住民が公園や水辺の土手、社寺、山地の道路周辺などの公共空間の「里親」となり、地域美化、清掃活動、里地・里山づくりなどを展開しています。

Q2 活動成果

家庭ごみの有料化に伴い、その是非や地域の美化活動、不法投棄ごみについて多くの議論が起きました。その際、アドプト事業を活用し美化運動を呼びかけました。現在では、市内71地区、65カ所を登録しており、県内で一番多くの活動を行っています。また、わが町



アドプトマップには、地点名と地図を収録。多くの方に活動をPRするとともに、協力を呼びかけるツールとなっている。

により親しんでもらうために、成果をまとめたアドプトマップを作製しました。

Q3 苦労した点と解決策

ごみ分別や地域清掃活動を進めるため、公衛連を知ってもらうことが課題でした。一斉清掃や水辺のウォーキングなどを市民に呼びけると共に、活動地点を公表しようと、「芦田川自然観察&ウォーキングマップ」を作製して、前述の「アドプトマップ」を収録し、公衛協事業の参加者や公民館などに配布しました。このマップは、多くの人に住み良いわが町を伝えるツールとして活用しています。

Q4 会長のモットー

「和やかに」を心がけています。わがまちを住み良いものにしていくというスローガンのもと、関係する皆さんが、和やかに協力していくことが、必要だと考えています。

(地域活動支援センター)

全県共通事業重点メニュー

積極的に活用し活動PRを

環境と健康をライフスタイルに

環保協では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案や、推進委員の養成・育成のための各種研修会の企画・運営等を行っています。今回は、「全県共通事業重点メニュー」について紹介します。活動メニューは、前年度と同様なので、積極的に活用し、活動PRや実践強化などに役立ててください。

環境づくりメニューは、「1万人のエコチェック事業」「1万人の食チェック事業」を展開します。

「1万人のエコチェック事業」

「1万人のエコチェック事業」は、全公衛協推進委員を対象に実施するもので、9月分の電気

使用料のお知らせにかかる期間に省エネに取り組む、その結果を電気使用量明細書などから把握・記録します。引き続き、全推進委員の50%以上の実践率を目標としています。

今年度は、前年度の実践率が50%を超えた公衛協が参加できる、「電気」「ガス」「ガソリン・軽油」などのエネ

ルギー使用量も記録する「ステップアップ編」を新たに準備しているのので、積極的に活用してください。

また、成果を記録するエコチェックカードは、12月10日に坂町で行われる広島県公衆衛生大会で抽選カイドとして利用された後、協会で県内の成果をまとめます。

「公衛協発・ひろしま美化大作戦」

「公衛協発・ひろしま美化大作戦」は、自然の恩恵を持続的に受けられるよう、環境保全活動に取り組む総合的な事業です。今年度か

ら事業名を変更しました。取り組み内容は継続して、町内一斉清掃や花いっぱい運動、アドプト事業などに代表される「地域清掃・美化」、排油の有効利用や生活廃水学習、水辺教室に代表される「水質改善・水質保全」、不法投棄ごみ対策、竹林の伐採や間伐に代表される「里地・里山」の3つのテーマで実施します。これらのテーマで保全活動を展開し、その活動記録を広く公表して公衛協のPRにつなげます。



公衛協発・ひろしま美化大作戦の提供グッズの一例

○提供グッズ○



ナップサック



歩数計

○貸出グッズ○



ロードカウンター

公衛協発ウォーキング事業の支援グッズの一例



PR用ベスト



PR用腕章

今年度も、年度末に県内で実施された学習活動や清掃活動について、6月19日から25日までの強化期間は毎日、以降は毎月19日(食育の日)に定期的に記録します。エコチェック事業同様、実践率50%を目指して取り組みます。成果を記録した食チェックカードを用いて7月9・10日に開催される環境保健夏季大学

で抽選会を実施します。以上、4つの全県共通事業重点メニューには、それぞれ活動促進グッズを準備しています。各事業の詳細は、当協会HPをご確認いただき、公衛協のPRとともに、大いに活用してください。

「1万人の食チェック事業」

「1万人の食チェック事業」は、自らの食習慣の現状を把握することで、健康づくりに向けた食生活改善に繋げることを目的に、全公衛協推進委員を対象に、各自が食事で摂取した食品数をチェックします。6月19日から25日までの強化期間は毎日、以降は毎月19日(食育の日)に定期的に記録します。エコチェック事業同様、実践率50%を目指して取り組みます。成果を記録した食チェックカードを用いて7月9・10日に開催される環境保健夏季大学

「公衛協発ウォーキング事業」は、公衛協が中心となって住民の日常的な健康づくりに寄与するため、ウォーキングコースの設定や事業イベントを実施します。新規に事業を企画し取り組む「初めて実践コース」と既存の活動を支援する「継続実践コース」の2つを準備しています。

「公衛協発ウォーキング事業」

「公衛協発ウォーキング事業」は、公衛協が中心となって住民の日常的な健康づくりに寄与するため、ウォーキングコースの設定や事業イベントを実施します。新規に事業を企画し取り組む「初めて実践コース」と既存の活動を支援する「継続実践コース」の2つを準備しています。